

事業所名

放課後クラブ ともだち

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

22 日

法人理念		ノーマライゼーションのまちづくりをめざします							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の思いや願いを尊重しながら、一人ひとりの特性に合わせた取り組みを進め自立を支援していきます。 ・5領域にもとづいて、活動の充実を図り、たくさんの体験（経験）を積み上げ、日常生活の充実や向上にむけた支援を行います。 ・個別・グループ支援を組み合わせ、発達段階に応じた支援を行ない児童が主体性をもって過ごしやすい環境をつくりま。 ・児童が安心・安全に地域生活が送れるように家庭、学校、行政、相談支援事業所などと連携した支援を行います。 							
営業時間		平日	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	<input type="checkbox"/>	なし
		土曜日	9 時	0 分から	18 時	0 分まで			
		長期休み	10 時	0 分から	19 時	0 分まで			
支援内容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの健康状態が把握できるよう医療情報シートや日々の健康観察表（長期休暇）を確認し、随時に保護者と健康状態の連絡調整を行うことにより、定期的な利用を促進し、児童の生活リズムの形成や安定を図ります。 ・衛生面（手洗い・うがいなど）の取り組みを行います。 ・見通しがもてにくい児童には絵や文字のスケジュール表やカードを作成し、視覚的にわかりやすく伝えます。また必要に応じて、静かなスペースに誘導したり、パーテーションで仕切りをつくるなど、児童が集中できる環境を整えます。 ・勉強や食事をする時は姿勢保持できるように、児童にあわせた椅子や机を用意します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行が困難な児童には歩行器を使用し、運動や移動能力の向上のための支援を行います。 ・運動中心のダンス、散歩、小運動会、ラジオ体操を取り入れたり、水遊び、歌、工作、絵や文字のマッチングなど聴覚、視覚、触覚などの感覚にアプローチをしたりし、運動・感覚を意識した活動に取り組みます。 ・音に敏感な児童には、必要な時にイヤーマフの着用を促すなど個々の感覚特性に配慮します。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動する部屋、静かに過ごす部屋、食事をする部屋など構造化を進め、目的に応じた認知・行動ができるよう支援をします。 ・活動のはじまり、おわりを認識できるよう絵カードやスケジュールなどを活用して、見通しをもって自ら行動ができるよう支援します。 ・認知の特性を踏まえて、情報を適切に処理できるようパーテーションや個別の部屋を用意して刺激を緩和できる環境を整えます。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自らしたいことを相手に伝える。手伝ってほしい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身の意思を大切にするために必要な行動を適切な場面とれるように支援します。 ・児童の特徴やニーズに応じて、絵カードや文字、身振りを使ったコミュニケーション手段を活用します。 ・生活や遊びの中で、他者とのやりとりができるよう支援していきます。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守る、順番に行う、友達と協力する、思いとおりにいかないことを受け入れる、といった、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身に付けられるよう支援します。 ・友達との関わりについて、支援員が見本を見せたり、助言したりして、肯定的な関わりが増えるように支援します。 ・地域の店に買い物に行く機会をつくりルールなど社会性を養う支援を行います。 							

		支 援 内 容	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時に、本人の様子を見ることができるよう対応します。 ・困りごとなどがあった時には管理者、児童発達支援管理責任者に随時相談できる環境を整えます。 ・必要に応じてペアレントトレーニングに取り組みます。 ・保護者会と連携し、保護者同士のつながりや事業所との情報共有を進めます。 ・きょうだい関係における困りごとを家族やきょうだいと共有しながら支援します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて学校での児童の様子を見学し、学校と児童の様子や支援方針についての共有などを行います。 ・各進学先や就職先などへのスムーズな移行に向けて、児童の様子や支援内容を共有します。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣のボランティアグループや学童クラブなどと交流してノーマライゼーションにもとづくまちづくりを進めます。 ・他の相談支援事業所や発達支援事業所などと情報共有し連携を図ります。 ・運営協議会（町の機関の代表者などが参画）を年2回以上開催し、今ある課題や情報共有を進めます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修、外部研修を年3回以上行い人権意識の向上や障害への理解を深め、よりよい支援方法を学びます。 ・月1回以上ミーティングを実施し、児童の情報共有や支援について検討を行います。 ・事例検討会を年1回以上開催します。
主な行事等	避難訓練（火災や地震を想定：消火・避難・通報・年2回以上）、交通安全指導、季節に応じた活動など。		